

普及進め、取得率上げる

北ト協と札ト協

グリーン経営推進セミナーを開催

【北海道】北ト協と札ト協は11月22日、「グリーン経営推進セミナー」を開いた。

交通エコモ財団交通環境対策部長の加藤信次氏が、グリーン経営の制度概要や取得に向けた取り組みのポイントなどを説明。「企業は、ただ利益をあげるだけでは済まなくなってきたおり、環境問題への対応も経営の重要な要素。中小企業が、どのように環境に取り組んだらいいのかを考える際に、環境ISOでは手間がかかり、コストも高いのが実態。グリーン経営認証は中小でも取り組みやすい」と述べ、取得事業者は全国平均より29.7%も燃費水準が高いと取得のメリットを説明した。

全国のトラック運送事業者のグリーン経営

運輸局で利用促進キャンペーンも

認証の登録事業所は、10月末の時点で5803事業所にのぼり、登録事業所が保有する車両台数は15万1319台になる。車両ベースでは全事業者の車両保有台数の12.5%にものぼっており、8台に1台がグリーン経営を取得している計算となる。

進まない普及

北海道では、12事業所が取得し、車両ベースで4860台。これは全車両の7.3%でしかなく、全国平均を大きく下回っている。全国で下位から6番目、中部地方以北では最下位だ。普及が進まない理由として、道内のト協職員

は「荷主や元請けが、グリーン経営を取っているところを優先して使うことが減多にないため、取得するメリットを感じる事業者が少なくはないのか。決して、道内の事業者の環境への意識が低いというわけではないと思う」と指摘する。

積極的に選択を

グリーン経営GMAIなどの取得が、いわば行政お墨付きの「優良事業者」とされた格好となり、周知だけではない。一歩進んで積極的に選択するよう促している。ト協職員は「グリーン経営認証などの取得推進に向けて、運輸局の取り組みは非常に有り難い」としており、今後の取得率アップに期待を寄せている。

一方、グリーン経営を取得している札幌市の事業者は、「道内の運送会社は、『周りがある限りグリーン経営を取っていないからかまわない』と内弁慶になっているのではないのか。首都圏などの事業者と交流すると、いわゆる『しっかした会社』の多くはグリーン経営や環境ISOを取得している。このように会社と接する刺激が少ないので、安心してはいるのではないかと。これは道内運送業界の『空気』なので、そう簡単に取得する会社が増えることはない」と見ている。(玉島雅基)

北海道では、12事業所が取得し、車両ベースで4860台。これは全車両の7.3%でしかなく、全国平均を大きく下回っている。全国で下位から6番目、中部地方以北では最下位だ。普及が進まない理由として、道内のト協職員

は「荷主や元請けが、グリーン経営を取っているところを優先して使うことが減多にないため、取得するメリットを感じる事業者が少なくはないのか。決して、道内の事業者の環境への意識が低いというわけではないと思う」と指摘する。

グリーン経営GMAIなどの取得が、いわば行政お墨付きの「優良事業者」とされた格好となり、周知だけではない。一歩進んで積極的に選択するよう促している。ト協職員は「グリーン経営認証などの取得推進に向けて、運輸局の取り組みは非常に有り難い」としており、今後の取得率アップに期待を寄せている。

一方、グリーン経営を取得している札幌市の事業者は、「道内の運送会社は、『周りがある限りグリーン経営を取っていないからかまわない』と内弁慶になっているのではないのか。首都圏などの事業者と交流すると、いわゆる『しっかした会社』の多くはグリーン経営や環境ISOを取得している。このように会社と接する刺激が少ないので、安心してはいるのではないかと。これは道内運送業界の『空気』なので、そう簡単に取得する会社が増えることはない」と見ている。(玉島雅基)

一方、グリーン経営を取得している札幌市の事業者は、「道内の運送会社は、『周りがある限りグリーン経営を取っていないからかまわない』と内弁慶になっているのではないのか。首都圏などの事業者と交流すると、いわゆる『しっかした会社』の多くはグリーン経営や環境ISOを取得している。このように会社と接する刺激が少ないので、安心してはいるのではないかと。これは道内運送業界の『空気』なので、そう簡単に取得する会社が増えることはない」と見ている。(玉島雅基)